

科目名	資格対策講座 1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 2年次	必/選	選 2	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	若林恵美		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		なし	
【科目の目的】 この科目では、学生が電気工事業界から取得を求められている、「第一種電気工事士」の資格取得が目標となります。高圧電気工事の資格としての知識の取得・機器設置に対する構造要件など、第二種電気工事士の技術や知識を有効活用し、高圧に関する理論を率先して理解すること。公的機関や発注元となる顧客への正式な書類提出の方法も理解する。施工現場での専用材料の発注や工程管理を学び理解します。業務活動を行うための必要な能力を具体的にイメージすること、無駄の無い効率的な整備の重要性を理解することを目標にしている。									
【科目の概要】 この科目を受講する学生は、総合電気工事における国家資格「第一種電気工事士」取得の為の知識を習得する事が出来ます。高圧設備が常時機能を発揮する事を確保する制度であり、第一種電気工事士はその業務を誠実に正しい工事又は管理に関する技術の向上をはかり、常に新しい知識や技能を身に着ける必要があります。そのためにはこれまで学んできた電気工事の知識を利用し、国家取得をめざし、現場活動を行う上での基準を学び、総合的に理解できるようになるのがねらいです。									
【到達目標】 この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。また、資格対策講座2と連携し、国家資格としての在学時取得を行うものとする。授業中での行動を通じて、学生の「高圧電気工事に対する意識」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、高圧電気設備 に対しての提案能力を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。									
【授業の注意点】 この授業では、国家資格の取得を重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	総合的に第一種電気工事士の重要性を深く理解し、実践に活かすことができる		第一種電気工事士が重要だと認識している		第一種電気工事士の重要性は関係がないと考えている				
到達目標 B	法規の重要性を深く理解し、実践に活かすことができる		法規が重要だと認識している		法規は関係がないと考えている				
到達目標 C	電気理論の重要性を深く理解し、実践に活かすことができる		電気理論が重要だと認識している		電気理論は関係がないと考えている				
到達目標 D	高圧電気設備の重要性を深く理解し、実践に活かすことができる		高圧電気設備が重要だと認識している		高圧電気設備は関係がないと考えている				
到達目標 E	電動機制御の重要性を深く理解し、実践に活かすことができる		電動機制御が重要だと認識している		電動機制御は関係がないと考えている				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等